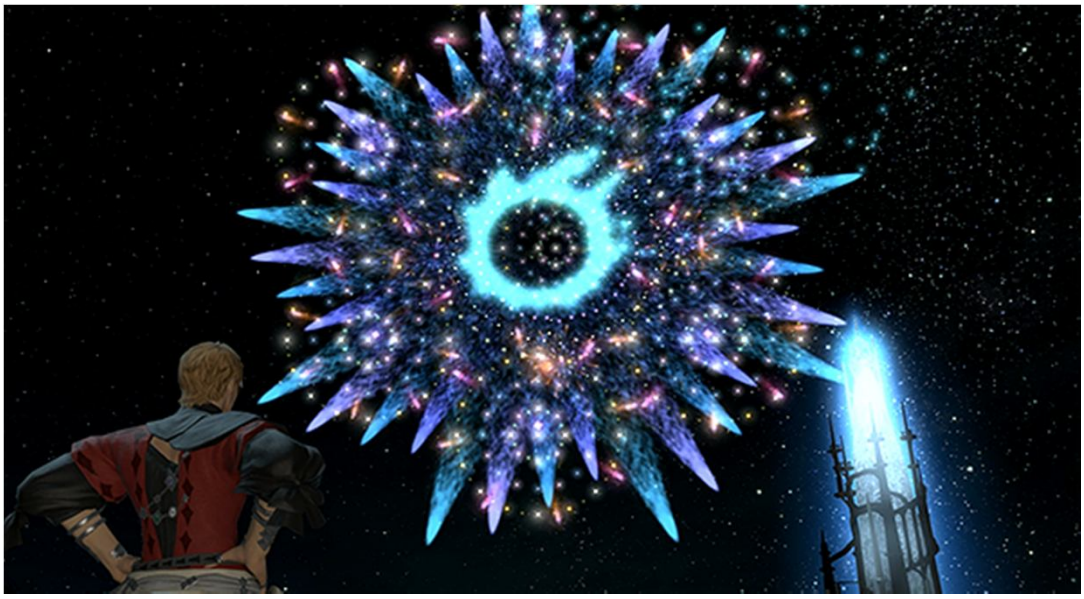
テキスト抜け、SSのトリミングや貼付位置の甘さがありますがご容赦願います。

FF14　備忘ログ　期間限定クエスト



2014年8月27日　～　9月8日

©2010－2014 SQUARE ENIX CO.,LTD.All Rights Reserved. FINAL FANTASY XIV

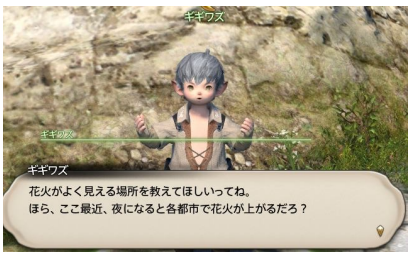
エオルゼアの夜空を「紅蓮祭」の花火が彩るなか、有志たちが募金を募って用意した、特別な花火が打ち上げられようとしている。
それは、霊災で亡くなった人への追悼と、新生への願いが込められた打上花火。
見上げる人に、様々な思いを抱かせる花火の光に照らされて、今、新たな詩が紡がれる……。

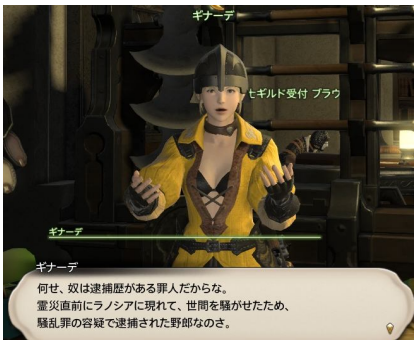
エオルゼア新生祭

ブラン ： ……ちょーっと、よろしいッすか？　自分、海都の人気情報誌「ハーバーヘラルド」の、新米記者ブランという者ッす。
自分は今、ここ最近、各都市に現れているという、「謎の吟遊詩人」についての情報を集めてるッす。
なんでも、その詩人は、銀のアクセサリで着飾るなど、派手な身なりをしているらしいッすが……。
……はぁ、この辺りでは見てないッすか。
彼が吟じる詩歌が評判になってまして、なんとか取材できないかと思ってるッす。
自分は、ほかの方を当たってみるッすが、何か有力な情報が入ったら、ぜひ教えてください。よろしくッす。

グレゴリー ： ……各地に現れている「謎の吟遊詩人」だと？　そういや先日、冒険者ギルドの任務で、
グリダニアに行ったときに、それらしき奴と出会ったぞ。
どことなく俺と顔が似てたんで、印象に残ってるんだ。そいつは、都市内で上がる霊災追悼の花火を、
神妙な面持ちで見上げてたよ。
俺も、霊災ではダチを失ってるからな。同じような経験をしたことがあるのかと話しかけたら、
何故だか礼を言われたんだが……何だったんだろうな？

ギギワズ ： ……「謎の吟遊詩人」だって？　その人物かは解らないが、故郷のウルダハに帰ったときに、詩人らしき男に道案内を頼まれたよ。
花火がよく見える場所を教えてほしいってね。ほら、ここ最近、夜になると各都市で花火が上がるだろ？
霊災で亡くなった人への追悼と、復興への願いを込めた特別な花火だよ。
きっと、あれを見て、詩を詠みたかったんじゃないかな？





ギナーデ ： ……最近、話題になってる吟遊詩人を知ってるかって？　知ってるも何も、目下、出現に備えて警戒中だ。
何せ、奴は逮捕歴がある罪人だからな。霊災直前にラノシアに現れて、世間を騒がせたため、
騒乱罪の容疑で逮捕された野郎なのさ。
だが、いつの間にか牢屋から姿を消していてな……　今度は脱獄罪で逮捕してやる！

ブラン ： 「謎の吟遊詩人」について、何か情報はあったッすか？　……なるほど、ウルダハとグリダニアで目撃情報があって、
いずれも霊災追悼の花火を見ていた……ッすか。
しかも、イエロージャケットは警戒中……　……ということは、逮捕はまだということッすね？
ならば、今後リムサ・ロミンサに現れるかもッすね。
もしかすると、すでにこの辺りにいるかもッすね。興味があるなら、あなたも探してみるといいッすよ。
貴重な報告をありがとうございました……では、自分はこれで。

初対面の場合

異邦の詩人 ： ……おや、何か僕に用かな？　「謎の吟遊詩人」を探していたって？
確かに僕は、異邦の詩人と呼ばれている。君たち冒険者の活躍を、詩にして詠っている者だよ。
今、僕は霊災追悼の花火を見ながら、エオルゼアの地を旅しているところなんだ。
そこで活躍する、君たち冒険者に思いを馳せながらね。

既に会っている場合

……おや、こんな所で君と再会するなんて。僕は霊災追悼の花火を見るために、各地の都市を巡っていたところなんだ。
……あの第七霊災を乗り越え、新生を果たしたエオルゼアの大地。そこで活躍する、君たち冒険者に思いを馳せながらね。

異邦の詩人 ： きっと、ここで君と会ったのは何かの縁なのだろう。この記念に、君が歩んだ冒険を僕に聞かせてくれないか。
新しい詩を紡ぐには、新しい物語が必要だからね。
この新生したエオルゼアの地を、より良く変革しようと、活躍する冒険者たち……。
うん、その姿には勇気づけられ、創作意欲が湧きあがるよ。
……だが、君の活躍に相応しい新たなる詩を紡ぐには、しばしの時が必要だ。だから今は、賢人ルイゾワが残した遺文を贈ろう……。

異邦の詩人 ： 『暁導きたるは　輝ける陽光なり　然れど　光き強は　深き闇をも招かん
闇が光と交わりて　色失いし剣　白き地に　黒き影を落とさん』

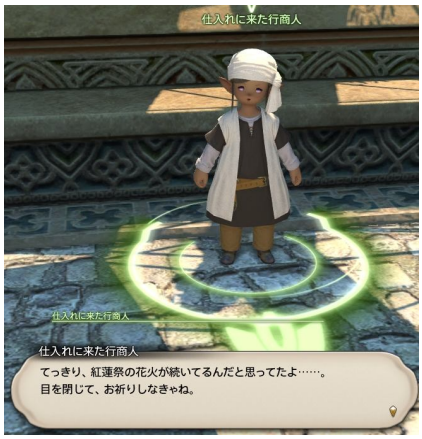
異邦の詩人 ： エオルゼアを新たな時代に導くのは、「輝ける陽光」となる冒険者……つまり、君たちさ。
しかし、賢者は、こうも警告している。光を帯びた強者の存在は、対をなす闇を帯びた者をも招く……と。
「色失いし剣」が何を示すのか、今の僕には解らないけど……　「白き地」……北方のクルザスが騒がしいと耳にする。
近々、君はさらに過酷な戦いに身を投じることだろう。
新たな戦いに赴く君に、壮行の意を込めて。そして、これまで活躍してくれた君に、感謝の意を込めて。
……最後に僕から、即興詩を贈らせてほしい。

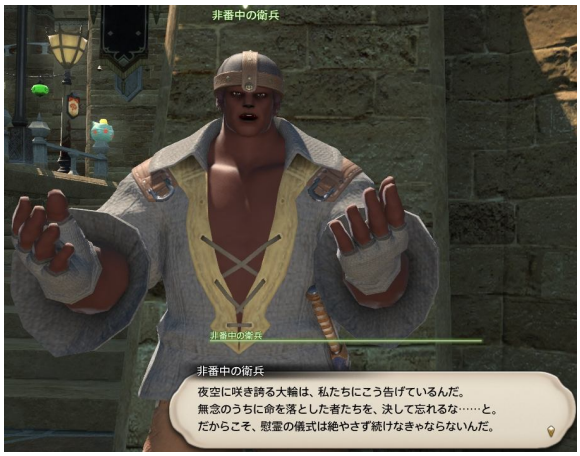
異邦の詩人 ： 暁の輝き増して　大地を照らさん……　其の陽光　白き地をも照らし　闇を裂く。
然れど　大いなる門開くとき　新たな災禍来たれり……　立ち向かうは汝　その名は希望なり。
次元の狭間を揺蕩い、光の戦士の詩を紡ぐ……。

異邦の詩人 ： ……ようこそ、我が最愛なる、光の戦士殿。
ここが現世（うつしよ）なのか、狭間の世界なのか、それは不問にしておこう。
第七霊災以前……。次元の狭間より、この世界へと彷徨い出た僕にとって、君の放つ輝きは、常に希望の道しるべだった。
そう、見てごらん……　それは彼らにとっても同じこと……。
暁の灯……暁の希望……それはまさしく君のこと。このエオルゼアが、新生の刻を迎えられたのも、
光の戦士である君のおかげだよ……ありがとう。
きっと、彼らも同じ気持ちさ。君がエオルゼアを訪れ、冒険者として活躍してくれていることで、
人々に希望をあたえているのだから。
ありがとう、光の戦士よ。
この先もきっと君は、人々の希望であり続けるのだろう。傷つき、膝をつく敗北があったとしても、
きっと君は立ち上がり、困難へと挑むのだろう……。
……己が信念を貫くために。
そして君が、その手に勝利を掴んだその時のために、僕からもささやかな贈り物をさせてほしい。
これからも君が、僕やエオルゼアの人々にとって、「希望の灯」であらんことを願って……。

追想にふける冒険者 ： 最近、夜になると上がってる花火……少し変わったみたいね。霊災で亡くなった人たちへの追悼の花火なんだって。
これから花火が上がるたびに、思い出しちゃうのかな。降り注いだ炎の雨……
そして、いなくなっちゃった人たちのことを。

空を見る婦人 ： いま上がっている花火は、紅蓮祭のものではないわ。霊災追悼と復興の花火……そう呼ばれているの。
花火を上げてる冒険者ギルドの人たちが歌ってたわ。「夜空の闇が深ければ、われらが光を灯すべし！」
……なんだか、頼もしいわよね。





仕入れに来た行商人 ： ねえ、知ってた？　いま上がってるのって、霊災追悼の花火なんだって！
てっきり、紅蓮祭の花火が続いてるんだと思ってたよ……。目を閉じて、お祈りしなきゃね。

非番中の衛兵 ： 霊災の犠牲者に手向ける花火が上がっているね……。だけど私は、慰霊という行為は死者のためではなく、
むしろ生き残った者のためにあるんだと思う。
夜空に咲き誇る大輪は、私たちにこう告げているんだ。無念のうちに命を落とした者たちを、決して忘れるな……と。
だからこそ、慰霊の儀式は絶やさず続けなきゃならないんだ。

路上を観察する商人 ： この間まで、紅蓮祭の花火が上がっていただろう？　だけど、いま上がってるのは、霊災追悼の花火らしい。
よく見ると、前とは色も変えてある。一流の職人に頼んで、とっときの花火を調合させたそうだ。
ひとつひとつの輝きに、彼らの精が込もってるんだろうね。

休憩中の弓職人 ： 最近上がってる花火、すごく綺麗だよな……。見ていると、心が洗われるようだよ。
この街だけじゃなく、エオルゼアの各地で見られるらしい。冒険者ギルドの連中が打ち上げてるんだってね。
ほかの街で見ると、また違う趣なんだろうなあ。

新生祭特別委員 ： こちらは、「新生祭」の記念品販売所です。第七霊災の犠牲を偲ぶとともに、
エオルゼアの新生を祝す、さまざまな品を取り扱っていますよ。
都市内では追悼花火も打ち上げられていますから、ぜひ、記念品を手に夜空を見上げてくださいね。
……って、なんですか、その目は？　薄着だからって、ジロジロ見ないでください……。